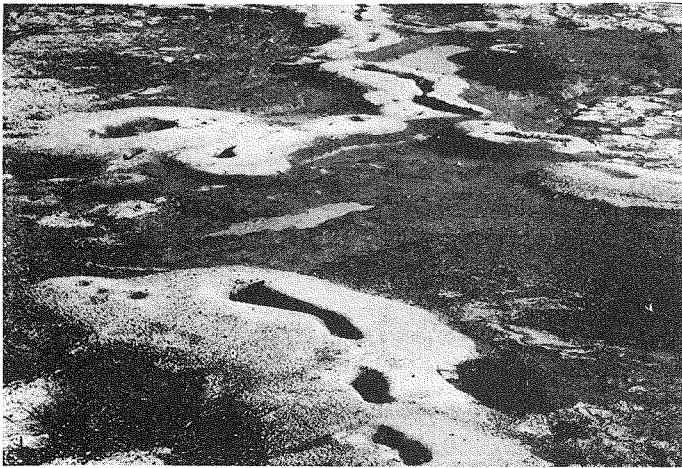
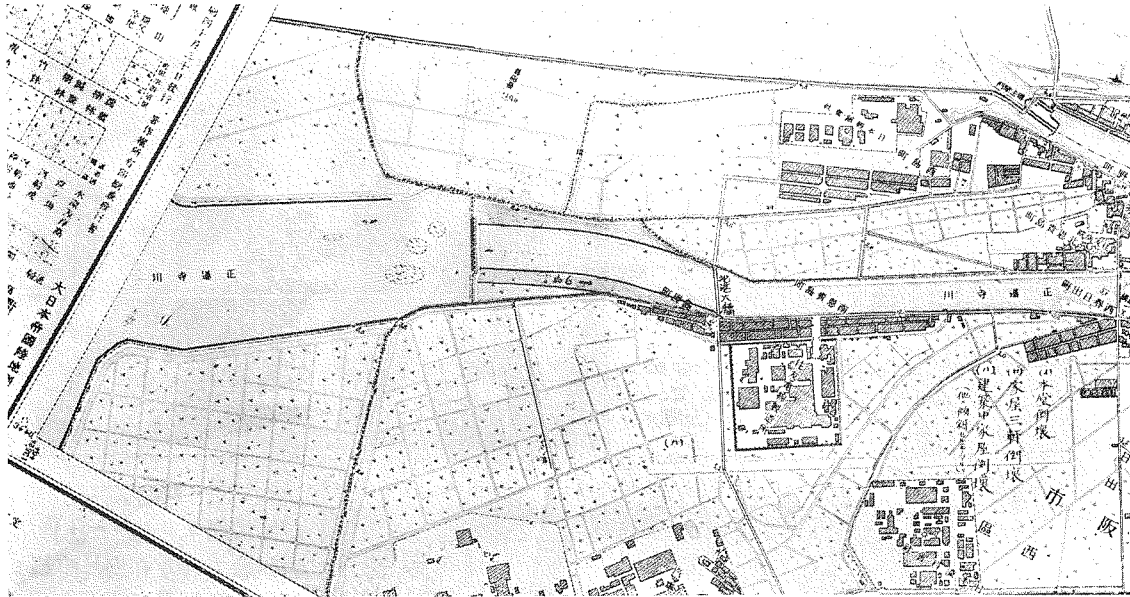


(1) 大阪市中津川沿岸震災被害地平面圖 (昭和貳年參月七日午後六時三十分)



寫眞狀況の箇所は地圖の中に中津川の文字を挟みたる兩岸に矢印にてNoの番號を附せり。以下順次に下流地帯に及ぶ。

(2) 地震の爲め生じたる砂地の孔
 混凝土護岸線より約40間位の處を示す(地圖にてNo1の箇處) 澤山の噴出孔ありて當時盛に湧水せし跡明かなり、孔外に堆積せる土砂は充分洗滌されたるが如し、孔徑は約3-4寸なり
 (2) The Holes from which Water Gushed after the Earthquake.

(3) 混凝土護岸工の破壊の狀況を示す(地圖にてNo3の箇處)

護岸は一間の間隔を置きて20尺のコンクリート杭をウオータゼットにて建込み、之に幅一間、高さ四尺のコンクリート板三枚を挿入し、杭の根入は十四尺にして三間半を隔て、連続控に取付けた。破壊の狀況は約一間乃至一間半位前方に轉倒し、或は控へ其ものを引寄せ又は切斷せり。切斷せるものは上部笠石剥脱して水中に没せり。

(3) View of Damaged Concrete Embankment by the Earthquake.

